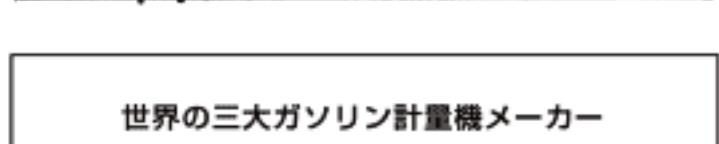


キュー太郎
浜坂高一郎



世界の三大ガソリン計量機メーカー
TATSUNO



組織強化や経営安定化に取り組む四国支部(内には天野支部長)



共同事業の積極推進を続ける鳥取(内には坂口理事長)



新年度事業方針を決める、総額4,687万円の予算を承認した。



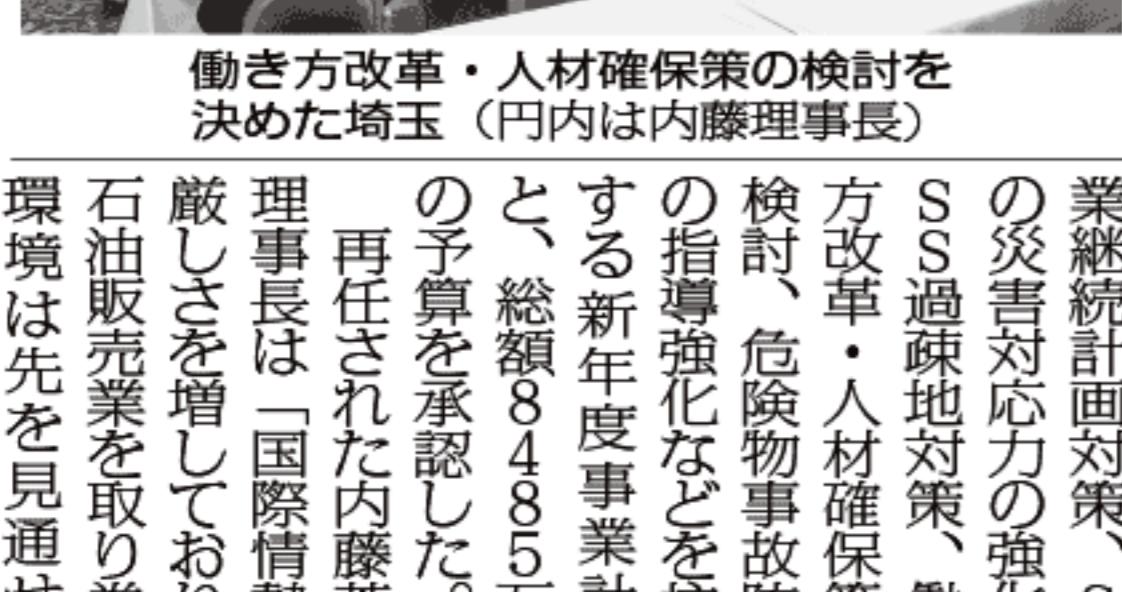
天野博司支部長は「ガソリンは減販時代に入ったと感じている。新しいビジネスやSNS運営をどうするか苦慮されていると思うが、どのように再構築していくかを考えながら環境の変化に対応してほしい」と訴える。



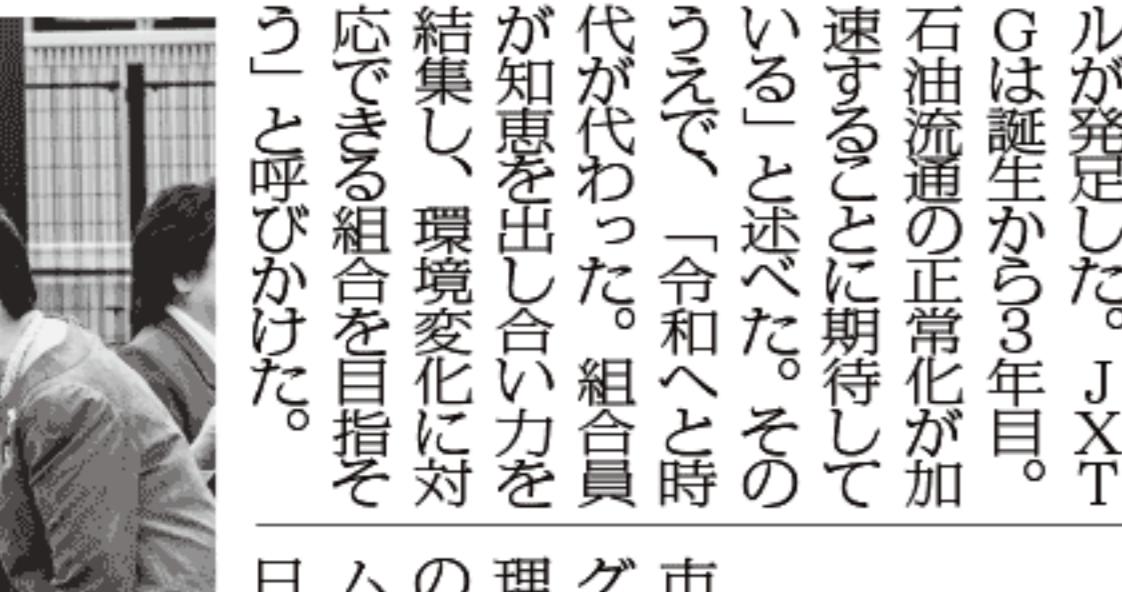
同会には全石連の森洋会長も駆け付けた。



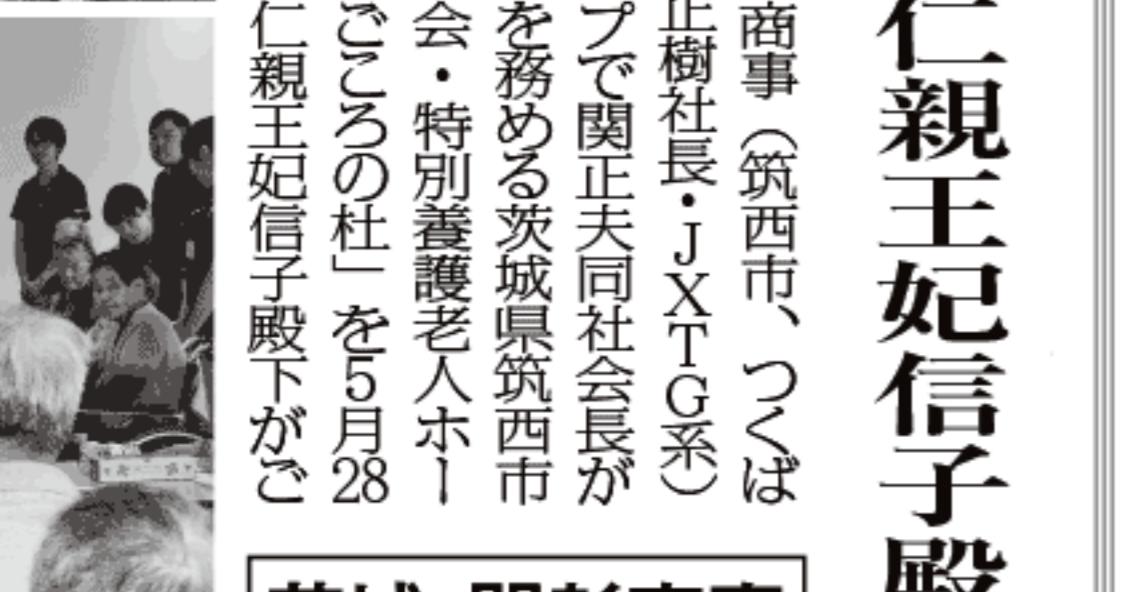
採算販売の意識徹底など新年度事業計画を承認した愛知(内には宇佐美理事長)



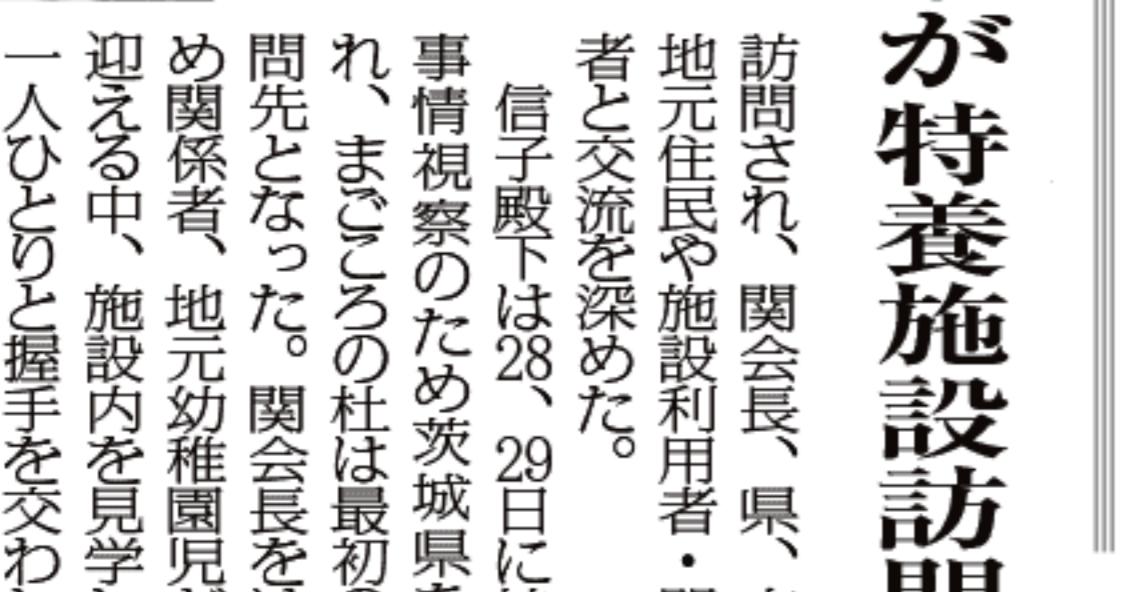
満タンバッジを全員が胸に付け、組織強化を誓った広島(内には大野理事長)



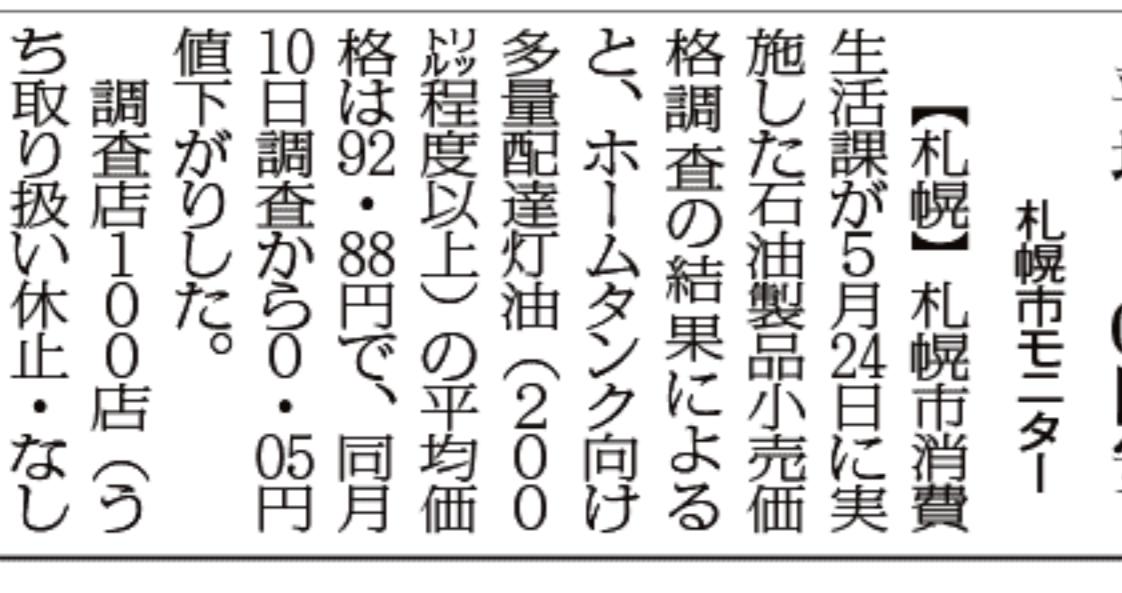
安定期供給の使命を再確認した山梨(内には西川理事長)



働き方改革・人材確保策の検討を決めた埼玉(内には内藤理事長)



新年度事業計画や総額3,587万円の収支



多量配達灯油 平均0.05円安



札幌市モーターフィルム



札幌市消費生活課が5月24日に実施した石油製品小売価格調査店100店

10店調査から0.05円値下がりした。

格付調査の結果による

格付調査100店の平均価格

9円で両油種いずれも

0円(1店)。

ガソリン(現金) 9円で両油種いずれも



笑顔で退任のあいさつを述べた小岩井会長



Sであります。本当にありがとうございました」とあいさいました



「よくぞお見えになりました」とおもてなしの言葉を述べた小岩井会長



石川・従業員表彰 11人を顕彰し労う



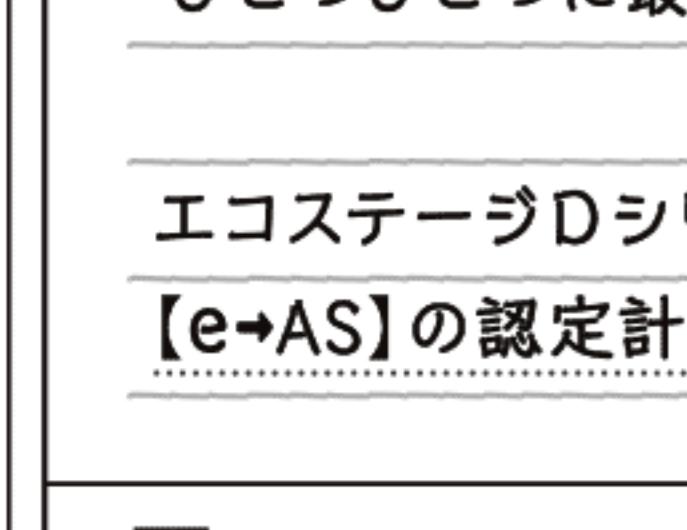
岐阜・総代会 優良従業員 17人を表彰



岐阜・総代会 優良従業員 17人を表彰



岐阜・総代会 優良従業員 17人を表彰



岐阜・総代会 優良従業員 17人を表彰

新体制にエール

五十嵐新体制にエール

支部連小岩井会長が勇退

PayPay導入説明会

関 東

関 東

関 東

関 東

中 部

中 部

中 部

中 部

中 部

中 部

中 部

中 部

中 部

中 部

燃料供給をささえる確かな品質の製品群

確かに計量を確実に

燃料供給シーンで使われる製品群

ひとつひとつに最高の品質を…。

エコステージDシリーズは
[e-AS]の認定計量機です。
大気環境配慮ESS



株式会社タツノ

本社 / 〒106-8520 東京都港区三田三丁目2番6号

050-9000-0567

<http://www.tatsuno.co.jp/>

QR決済の利点聞く意見も

関 東

関 東

関 東

関 東

中 部

中 部

中 部

中 部

中 部

中 部

中 部

中 部

中 部

中 部

株式会社タツノ

本社 / 〒106-8520 東京都港区三田三丁目2番6号

050-9000-0567

<http://www.tatsuno.co.jp/>

BRIDGESTONE

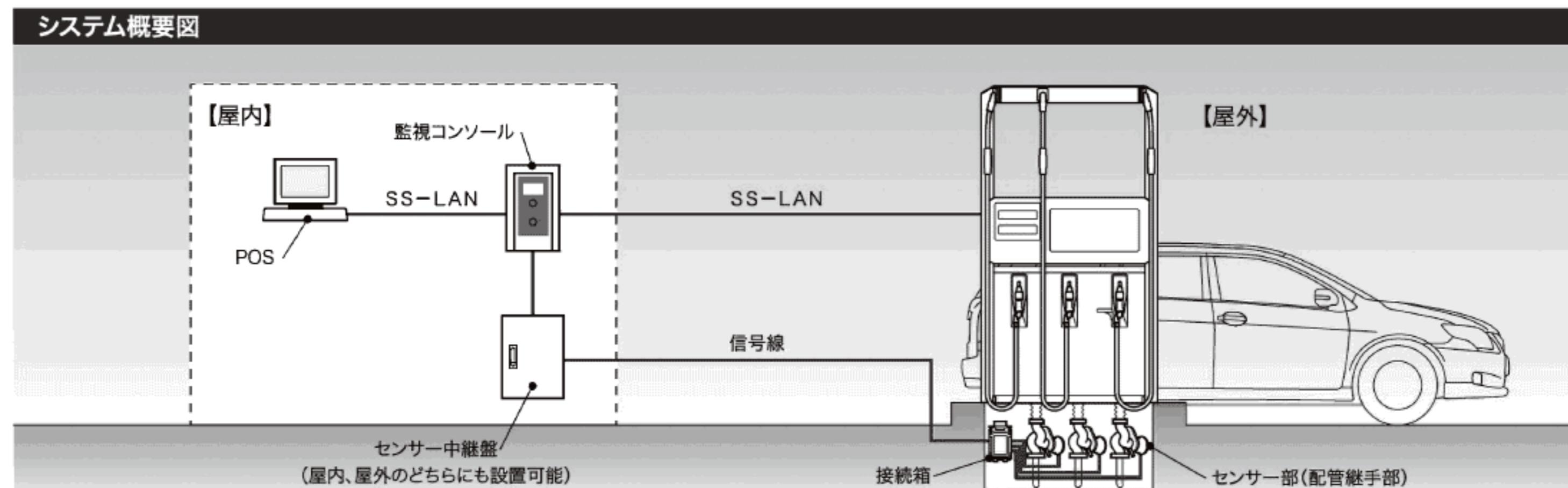
あなたと、つなぎの景色へ

配管水検知システム開発

**異常あれば即
自動停止し警告
事故を未然防止**

富永製作所

富永製作所（本社・京都市、大藏浩二社長）はこのほど、配管内に侵入した水を検知し給油による車両への水混入を防ぐ、業界初の『配管水検知システム』（AQUATECT SYSTEM）の開発に成功した。13日に千葉市の幕張メッセ・イベントホールで開催される「千葉SSビジネス見本市」に出展しお披露目する予定。



千葉見本市でお披露目

事故防止対応に向けた調査検討に着手する。事故を未然に防止するため、荷卸し時の基本マニュアルの策定を目指し、新技術の導入の必要性や具体的な改善策などを検討していく。今夏を目途に立案する見通し。

場内で出展社によるセミナーが初めて開かれる点だ。出展社6社がセミナーを予定しており、コンビニ業界大手のファミリーマートから地下タンク関連の玉田工業まで顔ぶれも多彩で、関心が高まっている。

◆高速SS・連休好調、ガソリン29.5%増販
<20日>ゴールデンウィーク期間（4月6日～5月6日）における高速道路管内SSの全国販売量は、前年同曜対比でハイオクが18.2%増の5757キロ㍑、レギュラーが2.2%増の2万6519キロ㍑、計29.5%増の3万2277キロ㍑、軽油が2.5%増の2万750キロ㍑、合計17.4%増の5万3026キロ㍑となった。1

販売台数は前年比0.7%増の581.8万台、4年連続で前年実績を上回った。登録車が1.3%増の336.5万台、軽四輪が1.4%増の45.3万台。軽四輪比率は42.2%と2年連続上昇、6年連続で40%を超える、全体の4割を占める状態が定着した格好となった。

◆第36回オートサービスショー2019開催

<27日>日本自動車機械工具協会（会長＝柳田昌宏バンザイ社長）が主催する自動車整備機器・工具の展示会「第36回オートサービスショー2019」が、16～18日の3日間、東京ビッグサイトで開催され、車の進化に合わせた新たな整備機器類が数多く出展された。3日間の合計で3万7245人が来場し、大きな盛り上がりを見せた。

元 売

◆JXTG・2040年長期ビジョン策定

<17日>JXTGホールディングスの杉森務社長は13日、「2040年長期JXTGグループ長期ビジョン」を発表し、年率2～3%の石油需要減少が続ければ40年には半減するとの前提で成長戦略を追求し、石油の高付加価値化を図り“石化・潤滑油”を最大の成長事業、“発電”を石油精製販売と同程度にするポートフォリオを提示した。

◆元売決算・原油乱高下の影響くっきり
<27日> J X T Gホールディングス、出光興産、昭和シェル石油、コスモ石油ホールディングスの2018年度通期連結決算がまとまった。4月に出光昭和シェルが誕生し、元売再編の最終段階直前の各社決算は、安定した前半期から原油乱高下の影響を受けた後半期を経て、J X T Gは前年度実績を上回る営業利益を達成したものの、残る3

HITACHI

inspire the Next

給油の新しいスタンダード、誕生。

気化したガソリンベーパーを回収して 環境にやさしく安全なSSづくりへ

日立オートモティブシステムズメントでは、ガソリン荷卸時のベーパー回収に早期から取り組み

ベースパーソリカバリーユニット「e-Recovery」を完成

そしていま、その技術をさらに進化・コンパクト化して計量機に搭載。

これからも液化式ベーパー回収装置付計量機のラインアップを拡充させ、

クリーンで安全なSSづくりをサポートしていきます。

ベーパー回収装置

吸収したガソリンペーパーを計量機内で圧縮・冷却して液化します。

